

1 学期を終えて

教頭 柏木 拓也

地球温暖化が話題になり久しくなりますが、この札幌でも遅い初夏が、一気に盛夏となり、それ以降ずっと暑い日が続いています。東京や沖縄よりも気温が高い日があることに驚きます。

さて、1学期を振り返ってみますと、始業式、入学式に始まり、運動会や記録会、体育大会、宿泊研修、修学旅行などの行事、校外学習、街へチャレンジ、地域学習、何より日々の授業において、子供たちは自身の目標に向けて取り組み、一つ一つ力を身に付けて夏休みを迎えることができました。日頃から、保護者の皆様には、本校の教育に深いご理解とご協力をいただき、あらためて感謝申し上げます。また、本校で初の該当学部以外の児童生徒を休業日として行った全校授業研究会へご協力いただいたこと本当にありがとうございました。

この全校授業研究会では、ワークショップを通して「どうしてこの授業を行ったか」を、授業を行う一人一人の教員が説明できることを目指し開催しました。授業力の向上を図ることは、私たち教員にとって「子供たちの最高の笑顔があった」「子供たちのわかった！できた！がたくさんあった授業ができた」などのゴールを目指し、たえまなく取り組み続けなければならないと考えます。本校では、今、目の前にいる子どもたちが、将来大きくなった時に、「こんな人になりたい（なってほしい）」「こんな生活をしたい（してほしい）」という将来像の実現に向けて、小学部、中学部、高等部において、日々の授業づくりに取り組んでいます。授業づくりでは、「連続性」と「適時性」が重要だと考えます。目指す姿の実現には、各学部の授業が一つの方向性を持ち続けることと、子どもたちの発達や学年を加味し、適切な時期に適切な内容を扱うことが必要です。その意味からも全校で行う授業研究会はとても有意義な時間になりました。

子どもたちは、明日から夏休みが始まります。ご家庭ではどんな計画をされているでしょうか。「家族みんなでゆっくり過ごすよ」「ヘルパーさんと買い物に出かけるよ」「おじいちゃん、おばあちゃんと会うよ」「花火をするよ」など様々あると思います。熱中症の予防や交通安全に気を付けながら、夏休み（適切な時期）に、夏休みだからできること（適切な内容）をいろいろ考え、過ごしてください。そして、それぞれが有意義な夏休みを過ごされ、2学期には再び元気な顔を見せてくださいね。